

建築学教室創立 95 周年記念行事報告 (3) 卒業設計展

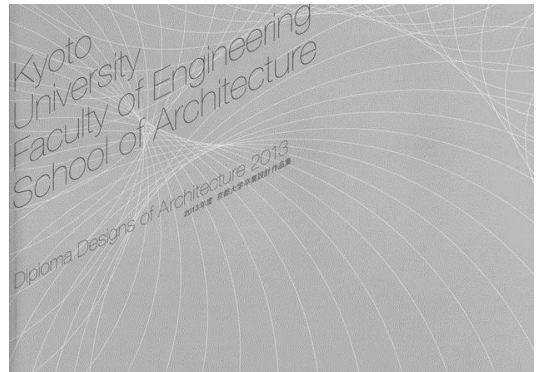
卒業設計展—卒業設計作品集と設計教育プログラム

田路貴浩 (昭和 61)

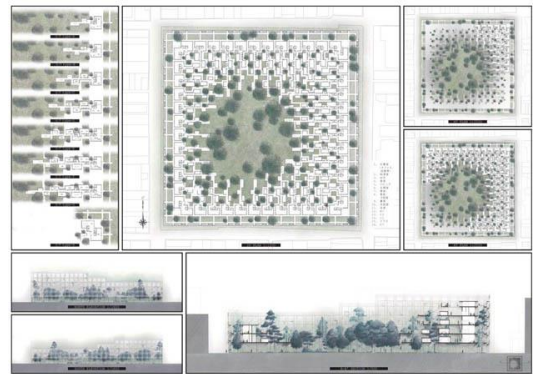
前回の創立 90 周年記念行事の際、最近の京都大学建築学教室の卒業設計の状況をご覧いただくために、会場（京都大学百周年記念館 2 階の国際交流ホール）の一角にパネルを展示しましたが、今回もこれと同様に 13 枚のパネル展示を行いました。

本教室では 2006（平成 18）年度から毎年、『卒業設計作品集』を刊行しており、2013（平成 25）年度作品集まで都合 8 年度分を制作してきました。卒業設計作品集は、①巻頭言、②学内の卒業設計審査会に出品されたすべての卒業設計作品（武田五一賞受賞作品は 4 頁、優秀賞受賞作品は 2 頁、その他は 1 頁）、③優秀作品の選考過程、④総評、⑤建築学科における設計教育プログラム、⑥編集後記から構成されています。

近年、京都大学の卒業設計は、全国的に見てきわめて高い水準にあり、毎年仙台で開催されている「卒業設計日本一決定戦」でも、京大生はたいへん優秀な成績を収めています。ちなみに、2009（平成 21）年は最終プレゼン者、2010（平成 22）年は最終プレゼン者、2011（平成 23）年は最終プレゼン者、2012 年（平成 24）年は予選 101 選に 2 名、2013（平成 25）年は日本二、2014（平成 26）年には予選 100 選に 5 名が選ばれています。そこで、創立 95 周年記念行事の一つとして、卒業設計作品集の中から過去 5 年間の武田五一賞受賞作品を選び、パネル展示を行いました。ご覧いただいた皆様には、最近の本学における設計教育の現状の一端をご理解いただけたことと思います。



『2013 年度京都大学卒業設計作品集』表紙



三野春樹「Yggdrasil—生命システムとしての集落—」2013 年度武田五一賞、および JIA 近畿支部学生卒業設計コンクール優秀賞を受賞

あわせて、卒業設計に至るまでの設計教育プログラムを展示しました。現在、建築学科では、1 回生前期に「建築造形実習」、後期に「設計演習基礎」、2 回生前期に「設計演習Ⅰ」、後期に「設計演習Ⅱ」、3 回生前期に「設計演習Ⅲ」、後期に「設計演習Ⅳ」、4 回生前期に「設計演習Ⅴ」、後期に「特別研究（卒業設計）」を行っています。原則として、図面と模型の展示が義務づけられており、設計・表現力を鍛えるプログラムに基づく設計教育が実践されています。

「卒業設計作品展」のパネルの作成については、吉田哲准教授（平成 4）、前田昌弘助教（平成 16）、杉山真魚助教（平成 17）に、パネル作成から展示の設営・撤去に至るまでご尽力をいただきました。記して感謝申し上げます。